様式F-2　改

共同利用実施報告書（研究実績報告書）

（施設・実験装置・観測機器等の利用）

1. 共同利用種目

■特定貸し出し機器の利用

１．共同利用コード　　　２０　　　－　　　－

２．研究課題名

３．研究代表者　所属・氏名（利用者の名前をご記入ください）

 （地震研究所　担当教員名）　　観測開発基盤センター長

４．利用者の詳細と使用の概要（研究代表者も記載し、必要に応じ行を追加してください。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 所属・職名 | 利用内容（場所） | 利用期間 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

５．研究実績

※所外の課題代表者は、所内担当教員に必ず実績について地震研業績DBへの登録依頼をしてください。

学会発表

（学会発表の場合、講演者名、タイトル、学会名、開催地、発表年（西暦）、招待講演（該当する場合）について記入してください。

記入例：K.Obara, Meaning and prospect for science of slow earthquakes, IAG-IASPEI, Kobe Japan, 2017 (invited)）

論文

（下記表の項目について記載してください。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| # | 論文情報（著者、論文タイトル、雑誌名、巻、頁、出版年、DOI） | 査読の有／無 | 出版年月 | 著者に地震研所員を含む／含まない | 謝辞の有／無 |
| 記載例 | Kazushige Obara, Aitaro Kato, Connecting slow earthquakes to huge earthquakes. Science 353, 253-257 (2016). DOI:10.1126/science.aaf1512 | 有 | 2016.7 | 含む | 無 |
| １ |  |  |  |  |  |

報告書（様式F-2改）作成にあたってのお願い

・ Web申請システム（<https://erikyodo2.confit.atlas.jp/login>）にて提出してください。

・ 「４．利用者の詳細と使用の概要」については、当該共同利用の利用者全員について個別に、氏名・所属・職名・利用内容（場所）・期間を記入してください。必要に応じて表の行を追加してください。

・ 「５．研究実績」には、雑誌および学会講演等として公表された成果（投稿済も可）のリストを記載してください。論文、学会講演予稿などについては、可能であれば電子媒体にて下記メールアドレス宛にご提出ください（未受理のものを除く）。難しい場合は、郵送にてご提出ください。

・ 学会講演予稿の公開について、既存の公開サイトがあり、リンクが可能な場合にはリンク先を記載してください。予稿が公開されておらず、また、リンクが不可能な場合には、地震研究所Webページからの公開可否を記載してください。

【提出先】

〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学地震研究所研究支援チーム（共同利用担当）

E-mail：k-kyodoriyo@eri.u-tokyo.ac.jp

|  |
| --- |
| 研究成果公表にあたってのお願い特定貸し出し機器を用いて行われた研究に関する論文を発表する場合は、謝辞に以下の形式の文章を記載し、その別刷を地震研究所に提出してください。予稿集またはプロシーディングスも同様です。（記載例）（記載例：共同利用コード｢2022-F-01｣）【英文】：下のいずれか・This study was supported by ERI JURP 2022-F-01 in Earthquake Research Institute, the University of Tokyo.・This study was funded by Earthquake Res. Inst., the University of Tokyo, Joint Research program 2022-F-01.【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(2022-F-01)の援助をうけました。 |